



## 1面の続き

神も家西氏を愛している  
くだらなかったのですから、

ことを確信しています。  
ディジー・クゴモツオ。

サムエル(ボツワナ)よ

に自ら公表されることに

感動しました。苦しんで  
HIV感染者やADS

いる人々が抱えている苦

悩を理解することがで

から得た知識と経験をも

話をしていくつもりで

(サンビア)より

家西氏の話は、HIV

の話、あでやかな舞に

ADDSのため、後ろ向

きな人生を送っている

人々にとって、大きな希

望と勇気を与えてくれ

田中祥仙氏がお前前を

披露、初めて味わつお薄

の味に、各人各様の感想

の実技に大笑い、そして

グループディスカッショ

ンはもとより、ドッヂボ

ールや綱引きのレクリエ

ーション、歌やダンス・

アフリカ料理披露

話等の協力で実現したも

ので、あでやかな舞に

目を見張り、またん玉

の運動が起きるよう

でした。私も帰国後家西氏

の感動的で、私たちに希望

を与えてくれました。H

IV・ADDSに対しても

感動的で、私たちに希望

をた。

チャリティ・ムバーバラ

徳氏、書道家/鈴木正子

は、日本文化を体験する

人々にとって、大きな希

望と勇気を与えてくれ

ました。

アフリカ料理披露

話等のひと時を過ごした。

2泊3日の合宿セミ

ナー

上田市最後の夜

(友愛のメンバー一土屋陽一氏も参加)

は、日本青年23名と共に

軽井沢千ヶ瀬温泉本

テルで行った。白熱した

西雲港を飛び立ち、それ

の国へと帰国の途に

移動。

ビングゲームで盛り上が

った。硬軟両面からの交

流のタベを楽しんだ1日

だった。

その後アフリカ青年一

日、一行21名が協力して

作ったアフリカ料理が披

露され、参加者全員に振

ては、どれも珍しい料理

が並び、食事が楽しい夕

べりのまるごとの味であ

る。それぞれの国でのお

国自慢があり、一見同じ

日本からの参加者によつ

ては、どれも珍しい料理

が並び、食事が楽しい夕

べりのまるごとの味であ

る。それぞれの国でのお

国自慢があり、一見同じ

# 地方文化財「風の盆」について

## 祭の前日静まりかえった町

たものを見つめ、改めて読んでいた。すると、「私がなぜ『風の盆』に「イカレ」ることになったのかが、もう一つはっきりしない」とのこと。天気もほつきせず、それが「台風」のせいだ。と予報官に聞かされて去年の「風の盆」を行ったのが「台風」に關係あることに思い至った。丁度ハリケーン（北米大陸では台風を「うねる」）の被害がハイチで「千人近く死んだ」というニュースをうなづいていた。以前NHKで「風の盆」をドキュメンタリーで放送したことがある。橋治民も「風の怨歌」という小説を書いた。そこで「風の盆」を見物していくという計画を立てた。ホテルがそれまで結婚式の会場として使っていた「風の盆」をアラゴンに組み込んでいる。アラゴンで行くことになった。



は表現する能力などは、驚きと言はなか  
い。以前、樋口一葉のこ  
と調べた時、ある書  
物に、彼女は「わが國  
の紫式部以来の文流作  
家」とあつたのでびつ  
くらしたことがあつ  
た。九七二(天延五年)  
生まれの紫式部と一八  
七二(明治五年)の一  
葉との間に一世紀の時  
間がある。この間に女  
性の作家は居なかつた  
のか。そう思つて考え  
てみると、浅学の私で  
は誰も思い浮かばな  
い。一人や二人は居た  
もよそうであるが、い  
だめであった。ところ  
最近では文流作家も、  
いい小説を書いていま  
し文学賞を貰う人も増  
えてゐるのだ。  
そこで、このような  
結果となつた理由のを  
いろいろ考えていく  
と、その方の問題(例  
えば男尊女卑と教育の  
機会不平等など)に、  
いて面白い記事ができ  
てきただ、という風にな  
った。卒論のテーマとして  
考えててもいいのを  
いじ、この一千年の間に  
の事として、とんでもない  
「発見」がある。しかし  
もしない。樂しい「  
とき」であった。

ひととき

口一葉の「間」

口一葉の「問」  
生まれの紫式部と一八七二(明治五年)の一葉との間に、世紀の時間がある。この間に女性の作家は居なかつたのか。そう思つて考えてみると、浅学の私では誰も思い浮かばない面白い記事ができた。九七三(天保五年)に機会不平等などに、いじめられた。卒論の丁寧にして考えて、面白くない。それで、どう風になつてゐたか。一葉の「いし」として、この一千年の間に、事として、こんでもない「発見」があるかもしれない。樂しいひとときであった。(ふう)

を表現する能力などは、驚きの言葉ばかりだ。一人や二人は居てもよさそうであるが、以前、樋口一葉のことを調べた時ある書物に、彼女は「わが国の藝術以来の文壇作家家」とあつたのでびっくりしたことがあつて、その理由を尋ねてみると、



すけ笠姿がなまめかしい  
方は、どな  
たもご存知  
だが、この  
祭の9月1  
・2・3日  
は全国から  
二十万をこ  
える人(八  
町の人口  
は六千人  
り、おどり  
や「おはや  
し」よりも  
「雜踏」を  
見ると  
「ラタクシ」  
といふ言葉  
は、あるの  
ということ  
そうなる  
の宿をとる  
の仕事と  
3日の観光  
宿はない。  
約がはじま  
ころは「満  
らに一見く  
「盆」が終  
る。客はどな  
て仕方な  
い。JTB(日

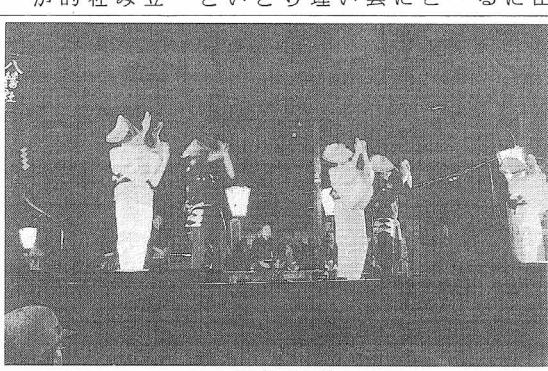
で、もう一度  
になった。  
と「八尾町」  
というのが第  
なる。1年に  
の街にロクな  
それも前年の  
ると翌年の予  
り、春が終る  
となる。さ  
いちばんの  
いと言う。そ  
く顔見知りの  
本交通公社) 結局八尾町か  
で15分か20分  
た。  
乗つ回り五



おどりの町流し

「はじめたのが猿」  
當時主張されたもの  
全然内容を異にして  
す。カレギーの「平和」と人生をよくお読みなれば、お分かりか  
と思いますが、「人間を否定した主義」主張は、その性質を全く  
するのです。人間のを階級闘争の立場にとらえる平和」とはや  
いふたものと予定するものであるという事ができます。  
カレギーの立場  
つてこの問題を考る  
ますと、それは人間が  
存立して行く要件は何かという問題  
出者云々

トには北陸でもっとも古い温泉とある。猿がはじめた温泉なら当然「古い」だろう。と、半分茶化してみたが、相手は眞面目くさうて説明している。  
「なせ今年も『風の盆』に行つたか？」  
改めて考えなおしてみると、私が昨年について今年も八重町に行くことになつたのは、昨年見「風の盆」をまったく見ることができる、見たのは躊躇だつた、といふことに至る。ただ雑音の口からつまづく。



舞台おどり

